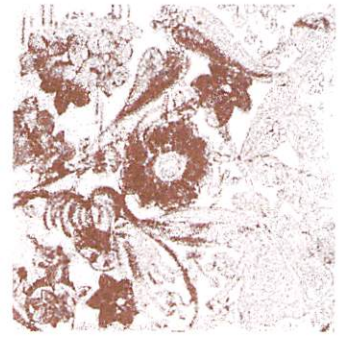


## 湘現会

# 万葉集はこんなに楽しい ～「まそかがみ」を例にして～



游 on H28. 2. 14 @鎌倉芸術館 1/2

## 吾意在野游(あいざいやゆう)

### 0: 万葉集とは

●20巻約4500首(古今集1111首、新古今集1970首) ●629年(舒明天皇)～

759年(淳仁天皇)の約150年間の歌 ●成立は780年代、大伴家持の編集

### 1: 万葉集の特徴

#### 1. 原文は漢字で書かれている(当て字)

鎌倉→加万久良、かも→鴨、可聞、はつはる→波都波流、うつろふ→宇都呂布  
米豆良之( ), 止時梨( ), 道乃不知久( )  
二八十一( ), 重二( ), ★「戯書(ぎしょ)」(たわむれがき)

#### 2. 短歌に加え、長歌、旋頭歌(せどうか)、仏足石歌(ぶつそくせきのうた)がある。

短歌31文字、旋頭歌38文字(577577)、仏足石歌38文字(575777)

#### 3. 作者が男女、貴賤を問わない

天皇から庶民まで。女流歌人、防人の妻、遊行女婦(ゆうこうじょうふ=うかれめ)

#### 4. 詠われた場所が広範囲である

対馬(長崎県)から福島県まで。静岡県、滋賀県、富山県、島根県、福岡県など

#### 5. 政治、歴史と表裏一体である

大化の改新、白村江の戦、壬申の乱、長屋王の変、遣新羅使、「日本書紀」(720)

## 2. 「まそかがみ」とは

1. 鏡をほめていう語。立派な鏡、よく澄んだ鏡。(真澄の鏡)
2. 枕詞(まくらことば)。鏡のありさま・働きや置き場所などいろいろな言葉にかかる。  
「見る」「懸(か)く」「床」「磨(と)ぐ」「清し」「照る」「面影」「蓋(ふた)」  
※枕詞: 特定の語の前に置いて語調を整えたり、情緒を添える言葉
3. 万葉集で使われている漢字  
「真十鏡」(15首)「清鏡」「白銅鏡」「銅鏡」「真鏡」「真素鏡」「真祖鏡」「麻蘇鏡」「末蘇鏡」  
「犬馬鏡」「喚犬追馬鏡」 ← 「戯書(ぎしよ)」(たわむれがき)  
(犬を呼ぶのにマと言ひ、馬を追うのにソと言った)

## 3. 「まそかがみ」の歌

万葉集に35首。特に11巻に多く11首、12巻には5首。

題詞 (寄物陳思)

原文 犬馬鏡 見不飽妹尔 不相而 月之經去者 生友名師

訓読 まそ鏡 見飽かぬ妹に 逢はずして 月の経ゆけば 生けりともなし

仮名 まそかがみ みあかぬいもに あはずして つきのへゆけば いけりともなし

12/2980 作者未詳

意味 (まそかがみのように)見ても飽きない彼女(妻)に逢わないまま月が経ってゆくので  
生きた心地がしない。

---

寄物陳思(きぶつちんし): ものによせておもいをのぶるうた=物に託して思いを表現する

まそ鏡: 枕詞でここでは「見」にかかっている。

妹(いも):= ①男性が女性を親しんで言う。妻・恋人⇄兄(せ)

②男性の側から姉・妹⇄兄(せ)

③女同士が友人や妹をいう語。

作者未詳: 万葉集では「よみ人知らず」とは言わない。

### あいざいやゆうと万葉集を楽しむ会のご案内

万葉集に出て来る花(植物)に焦点を当てて、毎回2首ずつ万葉集をご紹介します。

次回:H28年2月24日(水)19:00~20:30

次次回:H28年4月5日(火)10:00~11:30

会場:杉田地区センター(JR新杉田より8分、京急杉田駅ビル)

会費:一回1500円(資料、お茶、その花にちなんだお菓子付)

毎回、「恋忘貝-万葉ことば巡り」を資料として使います。

★連絡先:メール:[paksara3t@r7.dion.ne.jp](mailto:paksara3t@r7.dion.ne.jp) 電話:090-5757-7261(高木)★